

第71期 業務のご報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日



田上町「竹アートのライトアップ (たがみバンブー)」

 加茂信用金庫



ごあいさつ



さわやかな初夏の候となりましたが、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、加茂信用金庫に対し、格別なご支援、ご愛顧を賜り、心から厚く御礼申し上げます。ここに第71期の業務報告と決算についてご報告いたします。

当金庫は、創業以来、地元企業と地域住民のための親しみのある「地域金融機関」として、「地域社会の発展と豊かな暮らしの実現」を経営理念に、堅実経営に徹するとともに、地元ファースト・地元との運命共同体として、お客様から信頼され、お客様の期待にお応えできるような信用金庫を目指しております。

わが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、企業の設備投資にも持ち直しの動きがみられ、ゆるやかな回復基調にあります。金融市場におきましては、欧米中央銀行が利下げ局面を迎えるなか、日本では日銀が利上げに転じ、「金利ある世界」へ回帰するなど、各国金融政策の違いが鮮明となっています。また、世界の政治・経済情勢はリスク要因が山積しており、先行き不透明感の強い市場環境が継続しています。

地域経済に目を向けますと、人口および中小企業数の減少といった構造的な課題に加え、激甚化・頻発化する自然災害など、様々な課題に直面しています。信用金庫は、地域の繁栄と相互扶助を目的とした、地域との結び付きが強い地域金融機関です。地域の抱える課題が多様化・複雑化するなか、信用金庫が地域から求められる期待や役割は、ますます大きくなっています。

業績につきましては、加茂市の指定金融機関による公金の増加により、預金の期末残高は84,013百万円で前期比4,173百万円の増加となり、期中平均残高も86,912百万円で前期比3,593百万円の増加となりました。

貸出金は、五泉市への公金貸出と証券会社への金融機関貸出の増加により、期末残高は33,076百万円で前期比1,797百万円の増加となり、期中平均残高は30,679百万円で前期比3,806百万円の減少となりました。

収益状況につきましては、収入面では、金利の上昇局面により預け金利息が前期比56百万円増加したことにより、業務収益は前期比10百万円増加しました。支出面では、金利の引き上げに伴い預金利息が前期比38百万円増加したほか、評価損の計上による投資信託のメンテナンス33百万円を実施しましたが、本業の儲けを表す業務純益は57百万円、コア業務純益は89百万円を計上することができました。

臨時費用では、後継者難などによる信用コストの積み増しを実施し、経常利益は46百万円、当期純利益は56百万円の計上となりました。

また、自己資本比率は、前期比0.22%上昇し14.26%となりました。

今年、わが国では20年ぶりの国際博覧会となる「大阪・関西万博」が開催されております。万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」のとおり、新たな技術やアイデアが集まることで、未来でしか叶わないと思っていた世界が、一気に近づくことになるかもしれません。

信用金庫や地域経済は、様々な課題に直面していますが、地域金融機関として、環境変化に応じて新しいものを取り入れ、いつの時代も地域や社会に必要とされる金融サービスを提供することで、地域の皆さまとともに持続可能な地域経済社会の実現に貢献してまいりたいと思っておりますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年6月

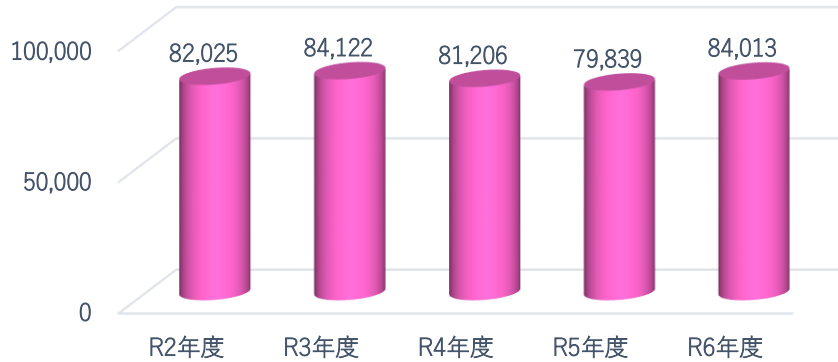
理事長 杵鞭 久



事業成績の推移

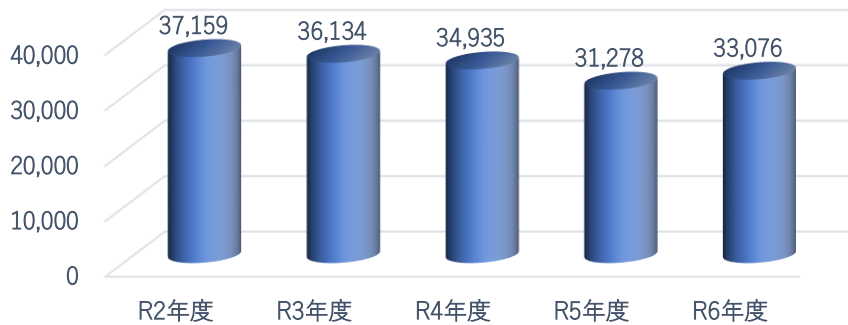
預金・積金残高の推移

[単位：百万円]



貸出金残高の推移

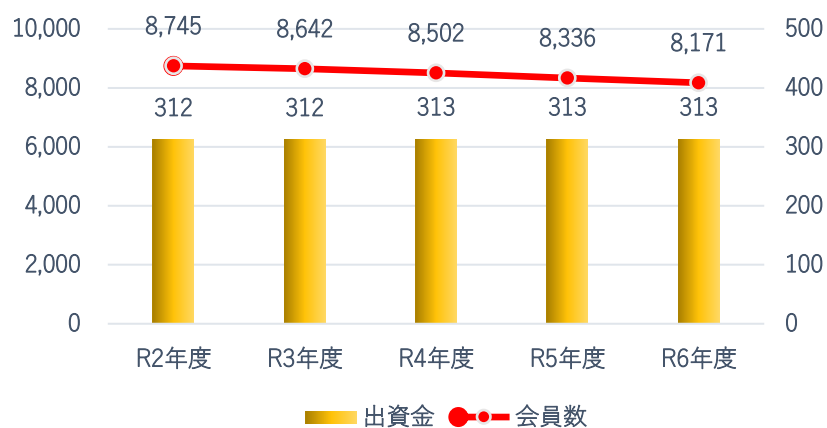
[単位：百万円]



会員数・出資金の推移

会員数 [人]

出資金 [百万円]



自己資本比率

当期の自己資本比率は、**14.26%** です。(前期は14.04%)



貸借対照表 (令和7年3月31日現在)

[単位：百万円]

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現 金	861	預 金 積 金	84,013
預 け 金	24,355	当 座 預 金	687
有 価 証 券	27,211	普 通 預 金	35,135
国 債	1,880	貯 蓄 預 金	152
地 方 債	4,807	通 知 預 金	63
社 債	10,863	定 期 預 金	44,338
株 式	230	定 期 積 金	2,434
そ の 他 の 証 券	9,430	そ の 他 の 預 金	1,201
貸 出 金	33,076	そ の 他 負 債	152
割 引 手 形	183	未 決 済 為 替 借	18
手 形 貸 付	958	未 払 費 用	53
証 書 貸 付	28,738	給 付 補 填 備 金	0
当 座 貸 越	3,196	未 払 法 人 税 等	0
そ の 他 資 産	680	前 受 収 益	16
未 決 済 為 替 貸	8	リ ー ス 債 務	26
信 金 中 金 出 資 金	496	資 産 除 去 債 務	5
前 払 費 用	2	そ の 他 の 負 債	29
未 収 収 益	107	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	24
そ の 他 の 資 産	65	偶 発 損 失 引 当 金	8
有 形 固 定 資 産	557	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
建 物	85	債 務 保 証	14
土 地	423	負 債 の 部 合 計	84,213
リ ー ス 資 産	24	(純 資 産 の 部)	
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	23	出 資 金	313
無 形 固 定 資 産	9	普 通 出 資 金	313
ソ フ ト ウ ェ ア	0	利 益 剰 余 金	3,526
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	8	利 益 準 備 金	313
前 払 年 金 費 用	7	そ の 他 利 益 剰 余 金	3,213
繰 延 税 金 資 産	6	特 別 積 立 金	3,100
債 務 保 証 見 返	14	当 期 未 処 分 剰 余 金	113
貸 倒 引 当 金	△ 343	会 員 勘 定 合 計	3,839
(うち個別貸倒引当金)	(△ 331)	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 1,615
		純 資 産 の 部 合 計	2,224
資 産 の 部 合 計	86,438	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	86,438

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



損益計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

[単位：千円]

科 目	金 額
経 常 収 益	1,082,354
資 金 運 用 収 益	970,619
貸 出 金 利 息	580,695
預 け 金 利 息	116,812
有 価 証 券 利 息 配 当 金	263,756
そ の 他 の 受 入 利 息	9,353
役 務 取 引 等 収 益	79,037
受 入 為 替 手 数 料	31,491
そ の 他 の 役 務 収 益	47,546
そ の 他 業 務 収 益	2,498
そ の 他 の 業 務 収 益	2,498
そ の 他 経 常 収 益	30,198
償 却 債 権 取 立 益	1,496
株 式 等 売 却 益	28,693
そ の 他 の 経 常 収 益	8
経 常 費 用	1,036,062
資 金 調 達 費 用	52,391
預 金 利 息	51,892
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	498
役 務 取 引 等 費 用	100,801
支 払 為 替 手 数 料	9,431
そ の 他 の 役 務 費 用	91,369
そ の 他 業 務 費 用	33,865
国 債 等 債 券 売 却 損	179
国 債 等 債 券 償 還 損	33,685
そ の 他 の 業 務 費 用	1
経 費	815,184
人 件 費	549,902
物 件 費	239,787
税 金	25,494
そ の 他 経 常 費 用	33,819
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	30,550
そ の 他 の 経 常 費 用	3,269
経 常 利 益	46,291
特 別 利 益	1,181
固 定 資 産 処 分 益	1,181
特 別 損 失	0
固 定 資 産 処 分 損	0
税 引 前 当 期 純 利 益	47,473
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	930
法 人 税 等 調 整 額	△ 10,252
法 人 税 等 合 計	△ 9,322
当 期 純 利 益	56,795
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	56,256
当 期 未 処 分 剰 余 金	113,052

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



剰余金処分計算書（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

[単位：円]

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	113,052,576
繰越金（当期首残高）	56,256,663
当 期 純 利 益	56,795,913
これを次のとおり処分する	
剰 余 金 処 分 額	6,374,030
利 益 準 備 金	113,000
普通出資に対する配当金 （普通配当 年2%の割合）	6,261,030
繰 越 金（当期末残高）	106,678,546

以上のとおり報告いたします。

令和7年6月24日

加茂信用金庫

理 事 長	杵 鞭 久
専 務 理 事	田 邊 和 之
常 勤 理 事	福 原 一 芳
常 勤 理 事	谷 口 誠
理 事	坂 上 通 男
理 事	阿 部 一 郎
理 事	樋 口 俊

以上、監査の結果、正確であることを認めます。

常 勤 監 事	阿 部 貴 行
監 事	高 橋 利 明
監事（員外監事）	弦 巻 博 行